

(様式8)

公共事業終了箇所評価調書

評価確定日(平成19年11月28日)

| | | | | |
|----------|--------------|---|-----------|---------------------------|
| 事業コード | H19-建-終-10 | | 区 分 | 国庫補助 (県単独) |
| 事業名 | 地方特定道路整備事業 | | 部 局 課 室 名 | 建設交通部 道路課 |
| 事業種別 | 道路改築事業(バイパス) | | 班 名 | 道路建設班 (tel.) 018-860-2493 |
| 路線名等 | (一)小出金浦線 | | 担 当 課 長 名 | 加藤 修平 |
| 箇所名 | にかほ市 立居地 | | 担 当 者 名 | 主幹(兼)班長 伊藤 茂 |
| 総合計画との関連 | 政策コード | U | 政 策 名 | 交流・連携と生活を支える交通基盤の整備 |
| | 施策コード | 4 | 施 策 名 | 地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備 |
| | 指標コード | 2 | 施策目標(指標)名 | 県道改良率 |

1. 事業の概要

| | | | | | | | | |
|--|---|---------------------------------|------------------------|---------------------------------|------------------------------------|---------|----------|--|
| 事業の背景及び目的 | 本路線は、旧金浦町中心部の国道7号を起点に、主要地方道仁賀保矢鳥館合線に至る幹線道路である。当該区間は人家連担地で、旧金浦町中心部への通勤・通学といった沿線集落の日常生活を支える道路として、また将来的には日本海沿岸東北自動車道「象潟仁賀保道路」金浦IC(仮称)へのアクセス道路としての機能を有する道路でもある。しかし、歩道の未整備に加え幅員狭小(Wmin=5.0m)が連続し、大型車のすれ違いや歩行者の安全確保が困難な状況であった。そのため、交通隘路区間の解消、冬期末改良区間の解消、安全な生活環境の確保のため道路整備を行ったものである。 | | | | | | | |
| 事業期間 | 前回 | H8年 ~ H16年 | 総事業費 | 前回 | 12.3億円 | 国庫補助率 | - | |
| | 終了 | H8年 ~ H16年 | | 終了 | 12.0億円 | | | |
| 事業規模 | 前回 | 延長L = 1,820m 幅員W = 6.0(12.0)m | | | | | | |
| | 終了 | 延長L = 1,820m 幅員W = 6.0(12.0)m | | | | | | |
| 事業効果の要因変化及び発現状況 | 経内費 | 前回評価計画 | | 最終 | 増減 | - | 理由 | |
| | | 事業費 | | 1,226,000 | 1,199,100 | -26,900 | | |
| | | 工事 | 用補 | 930,500 | 907,100 | -23,400 | 請負差金による。 | |
| | | | その他 | 225,300 | 223,000 | -2,300 | | |
| | 事業内容 | 調査・設計 用地買収補償 改良舗装工 橋梁工 | | 調査・設計 用地買収補償 改良舗装工 橋梁工 | | | | |
| | | コスト・効果対比較 | | 費用便益変化の主な要因(前回評価 終了) | | | | |
| | 最終コスト | | 終了C / 前回評価C = (0.98) | | 【便益】 事業費の減額に伴い、費用便益が上がった。 | | | |
| | 費用便益 | | 前回評価B / C = (1.30) | | 【費用】 工事発注の際の請負差金により、工事費が減額となった。 | | | |
| | 終了B / C = (1.33) | | | | | | | |
| | 目標達成率 | 指標名 | 県道改良率 | | | | | |
| 指標式 | | 改良率(改良済延長/実延長) | | | | | | |
| 指標の種類 | | 成果指標 | 業績指標 | 低減指標の有無 | 有 (無) | | | |
| 目標値a | | 67.5% | | データ等の出典 | あきた21総合計画H17目標 H17道路現況調書 | | | |
| 実績値b | | 68.3% | | | | | | |
| 達成率b/a | | 101.2% | | 把握の時期 | 平成19年10月 | | | |
| 指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 指標を設定することができなかった理由及び把握方法と成果 データの出典含む | | | | | | | | |
| 自然環境の変化 | 法面の緑化に関して、生態系を考慮し、在来種を多く配合している。 | | | | | | | |
| 社会経済情勢の変化 | 平成17年10月1日に仁賀保町・金浦町・象潟町が合併し、にかほ市となった。 | | | | | | | |
| 事業終了後の問題点及び管理・利用状況 | 現在は県が維持管理しているが、路肩の除草に関しては、周辺部落と調整し、地元の協力を得ることが必要と思われる。歩道を整備したことにより、歩行者の安全性が確保された。 | | | | | | | |

| | |
|----------------------|---|
| 住民満足度等の状況 (事業終了後) | 満足度を把握した対象 (受益者) 一般県民 (時期: 平成19年 8月) 満足度把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の方法 (具体的に) 満足度の状況 当該区間を利用する地域住民から、道路整備により安全に走行できるようになり、特に冬期間の安全や歩行者の安全が確保された旨の意見があった。 |
| 上位計画での位置付け | あきた21総合計画において「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」の位置付けあり。 |
| 関連プロジェクト等 | 地域振興プロジェクトである「鳥海山を中心とした周遊型観光圏の形成を推進する道路網の整備」の位置づけあり。 |
| 前回評価結果等 | 選定または継続 改善 見直し 保留又は中止 指摘事項 |
| | 指摘事項への対応 |
| | |

2. 所管課の自己評価

| 観点 | 評価の内容(特記事項) | 評価結果 |
|------|---|------|
| 有効性 | 住民満足度の状況 (A) B C 住民アンケートにおいて、安全な交通が確保されたという意見が多く出されていた。さらに、満足・やや満足との意見が93%であった。 | (A) |
| | 事業の効果 (A) 達成率100%以上 B 達成率80%以上100%未満 C 達成率80%未満 | B |
| | 当該事業は計画通り進捗し、あきた21総合計画の県道改良率目標を上回った。 | C |
| 効率性 | 事業の経済性の妥当性 (A) B C B/Cが1.33となっており、事業の経済性においては妥当である。 | (A) |
| | コスト縮減の状況 A 縮減率20%以上 B 縮減率20%未満 C 縮減なし | B |
| | - | C |
| 総合評価 | (A) (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い) 計画に沿って着実に事業が進捗し、地域住民の交通安全確保が図られており、住民満足度等からも成果が認められることから、事業は妥当である。 | |

3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)

事業開始前の予備調査や設計段階で現場の把握や、実施・詳細設計における適正な事業費の把握に努め、コスト縮減に関しても積極的な取り組みをし、効率的な事業執行を図る。

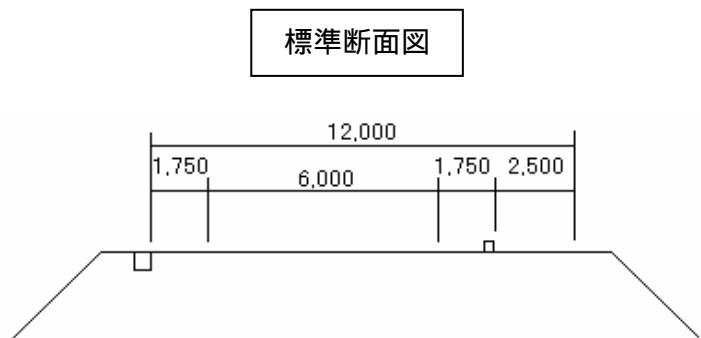
4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

総合評価の判定基準

| 総合評価の区分 | 判定基準 | 総合評価 |
|-------------|---------------------|------|
| A (妥当性が高い) | 全ての観点の評価結果が「A」判定の場合 | A |
| B (概ね妥当である) | 「A」判定、「C」判定以外の場合 | |
| C (妥当性が低い) | 全ての観点の評価結果が「C」判定の場合 | |

一般県道 小出金浦線 立居地バイパス



整備前



整備後

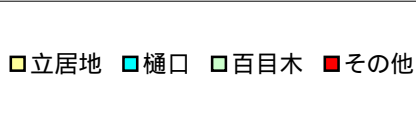
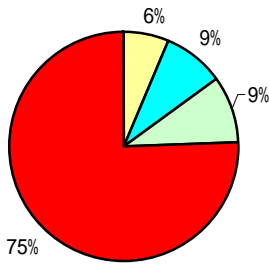
道路整備の効果に関するアンケート結果

(一)小出金浦線 立居地工区

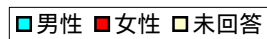
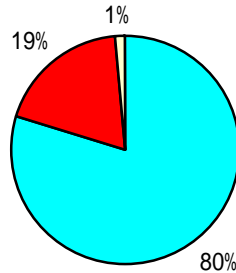
配布枚数: 100 枚
回収枚数: 94 枚 (回収率 94.0%)

回答者の状況

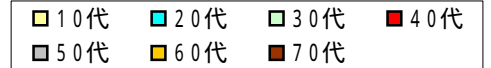
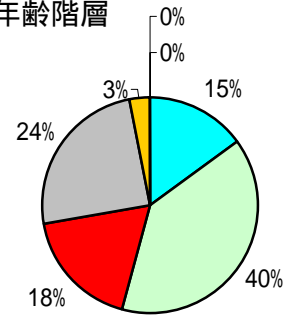
住居地区



性別



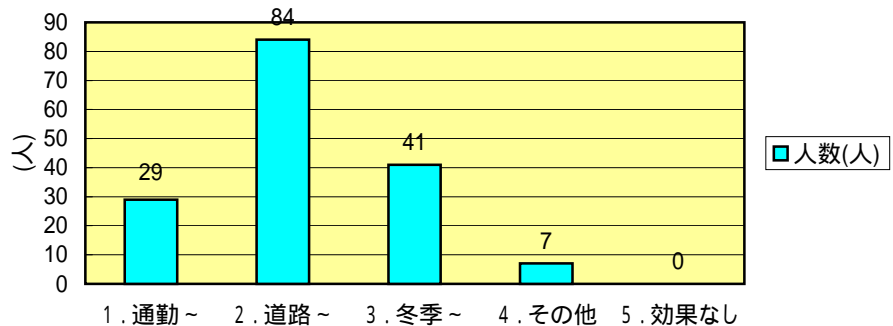
年齢階層



調査結果

(設問1) 「(一)小出金浦線 立居地工区」の道路整備工事が完成したことにより、どのような効果がありましたか。 複数選択も可。

1. 通勤、通学等の時間が短縮された。
2. 道路が広くなったので、安全に走行できるようになった。
3. 冬期交通の安全が確保された。
4. その他
5. 効果なし



(設問2) あなたは「(一)小出金浦線 立居地工区」の道路整備に満足していますか。

